

新規事業採択時評価項目調査書

番号 - 5

1 事業概要	事業名	一般国道491号 <small>しもおづき</small> 下小月バイパス 道路改築事業		
	事業場所	<small>しものせきしまよすえ おづき</small> 下関市清末～小月		
	事業主体	山口県	事業方法	● 国庫補助 ○ 単独
	財源・負担割合	● 国 60 % ● 県 40 % ○ 市町 % ○ その他 %		
	事業期間	平成25年度～平成32年度	総事業費 (内用地補償費)	5,400 百万円 (1,521 百万円)
事業目的	<p>国道491号は、国道2号との交差点である才川交差点を起点とし、国道191号との交差点である新大坊交差点に至る延長約5.3kmの県西部の陰陽を連絡する幹線道路である。当該区間の現道は、下関北部や小月ICからの交通が集中するため、慢性的な交通渋滞や事故が発生しており、事故危険箇所3箇所指定されている。</p> <p>このため、当該事業により国道2号との接続を新たに設け、交通の分散化による小月地区周辺の渋滞緩和や交通事故の減少を図るとともに、小月ICと国道2号との連絡強化を目的としている。</p>			
事業内容	<p>○延長 L=1.7km ○幅員 全幅8.0m(車道3.25×2=6.5m) ○道路区分 第3種第2級 ○計画交通量 11,800台/日</p>			
2 評価の視点	(1) 社会経済状況	社会的評価	<p>県内の道路網は、中国縦貫自動車道と山陽自動車道を主軸に、山陽側に国道2号、下関から島根県へ抜ける国道9号、山陰側に国道191号があり、東西方向に直轄国道が配置されている。南北方向には、当該路線をはじめとする県管理国道が主に陰陽を連絡しており、県管理国道の改良率は約87%という状況である。</p> <p>山口県の道路整備としては、県民生活、地域の産業、救急・防災活動などを支える重要な社会資本として、これらの機能を効果的に発揮させるために、県内全域にわたるネットワークの整備を進めている。</p> <p>その中で、地域産業の活性化を図るうえで、中国縦貫自動車道小月ICと連結する国道491号の整備は重要である。</p>	
		当該地区の社会経済情勢	<p>当該地区は、平成17年2月に合併した下関市の東部に位置している。</p> <p>また、周辺に工業団地や下関港(長府地区)が立地しており、平成22年1月に策定された下関市都市計画マスタープランにおいても、産業活動の効率化や企業の維持と立地促進を図っている。</p>	
		必要性	<p>当該区間は、下関市街地から県北部を連絡する幹線道路であるとともに、中国縦貫自動車道小月ICへのアクセス道路として、重要な路線であるにもかかわらず、慢性的な渋滞や事故が発生しており、安全で円滑な交通に支障をきたしていることから、道路整備が必要である。</p>	
		適時性	<p>国道2号小月バイパスの4車線化整備が進められており、連携して当該区間を整備する必要がある。</p> <p>また、当該区間の北側の上小月バイパスは、平成23年9月に供用しており、引き続き早期整備する必要がある。</p>	
		事業計画の熟度、地元の推進体制等の状況及び地元の意向	<p>【地元の推進体制等の状況】</p> <p>当該事業は、P1※1手法により地域住民とともに道路計画を検討してきており、事業の必要性について、地域住民の理解が得られている。</p> <p>【地元の意向】</p> <p>当該区間は、毎年、下関市から早期整備の要望があり、これまで実施してきたP1や地元説明会の中でも、地域住民からも早期整備を強く要望されている。</p>	

2 評 価 の 視 点	事業 の 投 資 効 果	費用対効果 分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主な項目</th> <th>事業採択時(百万円) (基準年: H24)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">便益 (B)</td> <td>①走行時間短縮便益</td> <td>4,914</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②走行経費減少便益</td> <td>1,883</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③交通事故減少便益</td> <td>218</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">総便益</td> <td>7,015</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>4,144</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>110</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>4,254</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比(B/C)</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	主な項目	事業採択時(百万円) (基準年: H24)	備 考	便益 (B)	①走行時間短縮便益	4,914		②走行経費減少便益	1,883		③交通事故減少便益	218		④その他の便益			総便益		7,015		費用 (C)	①事業費	4,144		②維持管理費	110		③その他			総費用	4,254		費用便益比(B/C)		1.6	
			区分	主な項目	事業採択時(百万円) (基準年: H24)	備 考																																			
			便益 (B)	①走行時間短縮便益	4,914																																				
				②走行経費減少便益	1,883																																				
				③交通事故減少便益	218																																				
				④その他の便益																																					
			総便益		7,015																																				
			費用 (C)	①事業費	4,144																																				
				②維持管理費	110																																				
				③その他																																					
総費用	4,254																																								
費用便益比(B/C)		1.6																																							
<p>【費用対効果分析手法】 「費用便益分析マニュアル(H20.11)」 基準年: H24 平成17年度道路交通センサス^{※2}ベース 平成42年推計交通量</p> <p>【費用対効果分析における特記事項】 走行時間短縮便益 自動車交通の円滑化により走行時間が短縮し、道路利用者にどのくらい利益があるか、お金に換算したもの 走行経費減少便益 自動車交通の円滑化による燃費の向上など、走行経費が節約となる事で、道路利用者にどのくらい利益があるか、お金に換算したもの 交通事故減少便益 交通事故が解消される事により減少する社会的損失をお金に換算したもの</p>																																									
<p>【+ 要因】 ①下関市北東部から第三次医療施設「関門医療センター」への時間短縮が図られる。 ②周辺企業から中国縦貫自動車道小月ICや下関港(長府地区)へのアクセスが向上し、物流の効率化により、地域産業の活性化が期待できる。 ③新たに整備するバイパスに交通が転換し、交通の分散化により、沿道環境の改善が図られる。</p> <p>【- 要因】 ①道路上で工事を行うこととなるため、交通規制、家屋への出入り等、近隣住民の社会生活に影響がある。</p>																																									
(3) コ 替 案 等 縮 の 減 可 ・ 能 代 性	コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】 ルート検討の段階で比較検討を行い、経済的に優れる案を採用しており、今後実施する橋梁などの詳細設計の際にも、新技術・新工法の採用を検討し、イニシャルコストのみならず、ライフサイクルコストの低減も考慮し、事業費の削減を図る。</p>																																							
	代 替 案	<p>【代替案の検討状況】 PI手法により民意をくみ取りながら、利便性、経済性、施工性を総合的に勘案し、最適なルートを採用している。</p>																																							
(4) 環 境 へ の 影 響 と 対 策	<p>【環境への影響事項: 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況】 当該地域には、希少動植物、歴史文化財等は特に無い。</p> <p>【環境への配慮】 工事中においては、粉じんや降雨時濁水の流出軽減を図る。</p>																																								
(5) 地 域 の 立 地 特 性																																									

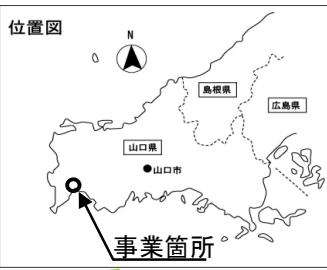
※用語説明

※1 PI : 「Public Involvement」の略。
住民参加型の計画づくりを実現する手法。

※2 道路交通センサス : 道路の計画や、建設、管理などの基礎資料を得ることを目的とした道路交通の実態を把握するための統計調査。

事業名 一般国道491号 下小月バイパス 道路改築事業

事業概要図



標準幅員

